

私たちは、その“たからもの”に
まだまだ気づいていないのかもしれません。



日本遺産

www.takaramono-pj.jp



ニッポン たからもの プロジェクト

NIPPON
TAKARAMONO
PROJECT

Live Art

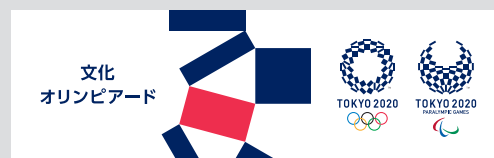
富山県 **高岡公演**

日時=2017年10月15日(日) 13:00～/15:30～ ※同内容で2公演開催

会場=富山県高岡市 瑞龍寺(国宝・日本遺産構成文化財)

参加費=無料 ※ただし瑞龍寺拝観料が必要(大人500円・中高生200円・小学生100円)

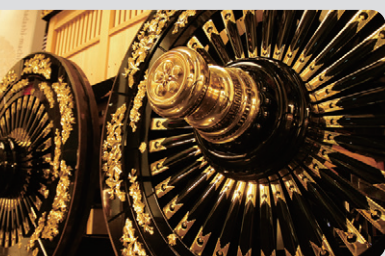
カタチのない“たからもの”を祝おう。 瑞龍寺(日本遺産構成文化財)での特別公演。



「ニッポンたからものプロジェクト」は、今年全国5か所で展開される特別企画。カタチにはとらえづらい日本遺産とLive Art(芸能)を結び、あたらしい光を当てます。今あらためて、私たちの“たからもの”を発見し、その恵みをお祝いしましょう。

今や国際的な鋳物・工芸の町高岡では、江戸時代より力強い町民の文化が育まれてきました。現在も町のあちこちで、その“心意気”が息づいています。その歴史的背景と魅力が「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心」として日本遺産に認定されています。

高岡を切り拓いた加賀前田家二代当主前田利長公の菩提を弔うここ瑞龍寺で、四津谷住職のお話から町の成り立ちに触れ、その歴史の一つの結晶である貴重な技について鍛金職人の島谷さんにお聞きましょう。新進の若手による日本舞踊、長唄、そして講談は、日本遺産にちなみ、今をイキイキと生きる伝統芸能を。最後は鋳物師の作業歌から派生した地域芸能「弥栄節」を改めて感じてみましょう。進行役セイン・カミュがいろんな敷居をぐんと下げて、お客様と一緒に発見と祝福の旅に出ます！



公演内容

トーク：四津谷道宏、島谷好徳
日本舞踊：花柳源九郎
長唄：杵屋勝十郎、望月秀幸ほか
講談：旭堂小南陵
地域芸能：御印祭弥栄節



弥栄節(地域芸能)：弥栄節保存会

高岡市金屋町で鋳物師職人により歌われていた作業歌「弥栄謡(やがえふ)」が由来。昭和34年親しみやすい節に改変され踊りと伴奏が付けられた。現在は毎年6月、前田利長公の徳徳を偲ぶ御印祭で上演される。



旅人(進行)
セイン・カミュ

1970年米国ニューヨーク出身。大学で演劇と芸術論を学んだのちに日本に定住、タレント活動を開始。2009年より『現代狂言』(座長・南原清隆 主催・萬狂言)にも挑戦。



トーク
四津谷道宏(瑞龍寺住職)

富山県で唯一の国宝瑞龍寺の三十一世住職。お寺でのコンサートやライトアップなども積極的に開催し、開かれたお寺を模索。巧みな話術が持ち味で、講演や執筆でも活躍。



トーク
島谷好徳(シマタニ昇龍工房)

全国で10人ほどしかいないおりん(鑿子)職人の一人。明治42年創業「昇龍」の4代目。「金槌で叩く」という技術を採用し、自在に曲げられる錫の器「すずがみ」を開発。



日本舞踊
花柳源九郎

1981年奈良県出身。2003年東京藝術大学卒業。観客を魅了する、華やかで力強い芸風が持ち味。2007年文部科学大臣奨励賞、2013年舞踊批評家協会新人賞受賞。



長唄三味線
杵屋勝十郎

1978年千葉県出身。東京藝術大学卒業。艶のある音色と巧みな技術を持ち、歌舞伎公演、日本舞踊公演、演奏会など幅広く活躍。津軽三味線でも受賞歴のある腕前。



囃子
望月秀幸

1983年東京都出身。東京藝術大学卒業。在学中「常英賞」受賞。確かな古典の技術を基礎に、近年は囃子の魅力を伝える「お囃子プロジェクト」もプロデュース。



講談
旭堂小南陵

大阪府出身。OL・俳優を経て講談師になった異色の経歴。2015年文化庁芸術祭新人賞、2016年八尾市文化新人賞受賞。昨年5代目として名跡「小南陵」を襲名。

「八丁道おもしろ市」も同日開催！(8:00～15:00)

年に2回、瑞龍寺の門前で開かれる人気のフリマ。毎回1万人が集まります。10月15日はくおもしろ市→瑞龍寺拝観→特別公演)のコースでいこう！ www.omoshiroichi.com/

にっぽんたからものプロジェクト—日本遺産×Live Art— 高岡公演

日時=2017年10月15日(日) 同内容で2公演開催

13:00～14:10(開場12:30) / 15:30～16:40(開場15:00)

会場=富山県高岡市 瑞龍寺

〒933-0863 富山県高岡市関本町35

参加費=無料 ※ただし瑞龍寺拝観料が必要(大人500円・中高生200円・小学生100円)

座席=180席(全席自由。客席前方は座布団席、後方は椅子席。)

主催=文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 共催=富山県、高岡市、瑞龍寺 特別協力=近畿日本ツーリスト株式会社

協力=一般社団法人共同通信社、一般社団法人長唄協会、公益社団法人日本舞踊協会、弥栄節保存会

お問い合わせ=公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会[略称:芸団協] TEL:03-5909-3060 FAX:03-5909-3061 Email:takaramono@geidankyo.or.jp

※公演開催に関する緊急連絡について:①ホームページで案内 ②事前申込者へはメール連絡

2017年度「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art」

7月2日(日) 京都府宇治市・萬福寺 10月14日(土) 福井県小浜市・旭座 10月15日(日) 富山県高岡市・瑞龍寺

11月4日(土) 広島県尾道市・浄土寺 11月5日(日) 島根県津和野町・永明寺

座席事前予約

座席の予約を希望する場合は、予め下記WEBからお申し込みください(先着順。申込1件につき5人まで)

WEBサイト → www.takaramono-pj.jp

申込締切: 2017年10月10日(火)

※事前申込の方は当日開演10分前までに受付をお済ませください。10分前を過ぎますと予約は無効となり、当日席として開放いたします。

